

堀場雅夫賞について

堀場雅夫賞は、国内外の大学または公的な試験研究機関において、分析・計測およびその応用に関する科学技術分野で顕著な業績を挙げつつある研究者・技術者を奨励表彰するものです。

対象分野

次世代半導体デバイスの開発に貢献する分析・計測技術



審査講評

2023 堀場雅夫賞 審査委員長
東京大学大学院工学系研究科
電気系工学専攻 教授
染谷 隆夫



堀場雅夫賞を受賞された皆様、誠におめでとうございます。心からお慶びとお祝いを申し上げます。審査委員会の委員長として選考過程について報告を致します。本年の堀場雅夫賞は国内18件、海外15件の合計33件の応募がございました。国内外のトップクラスの大学から優れた応募が多数寄せられ、これらは堀場雅夫賞に対する世界のアカデミアからの関心の高さを示しているものと思います。審査におきましては、私を含む7名の審査委員が応募書類全件について審査要領に基づき採点を行ないました。審査ポイントと致しましては学術的、新規性、独創性、次世代半導体デバイスの研究開発、生産プロセス確立への寄与、応募者の将来性、応募研究の学際的、俯瞰的な視点の4つのポイントで評価を行ないました。加えて本賞が分析・計測技術を対象とした賞であることを重視致しまして、新たな分析・計測技術創出への貢献度についても重要な採点のポイントと致しました。書面の審査後、審査委員会を対面で開催し、厳正な審査を経まして堀場雅夫賞の受賞者3名を選出致しました。また、本年は半導体分野での研究としても優れており、かつ将来的には分析・計測技術への展開が大いに期待できる応募がございましたので、特別賞2名を選出致しました。受賞者の研究は、優れた分析計測技術からAIを活用した基礎研究の在り方を示した研究まで、これからの半導体分野の発展に大いに期待できる研究が選ばれました。また、堀場雅夫賞の受賞者3名の所属を見てみますと、これは意図したわけではありませんが、結果として日本、ヨーロッパ、アメリカから各1名の受賞者が選出されました。19回の歴史と伝統を得て、文字通り国際的な賞であることの本賞の重みを審査委員長として、私も実感した次第でございます。以上、簡単ではございますが、受賞された方々の今後のますますのご活躍を祈念し、審査報告とさせていただきます。改めまして受賞者の皆様、誠におめでとうございます。

2023堀場雅夫賞 審査委員会 委員 (敬称略, 順不同)

審査委員長：染谷 隆夫	東京大学大学院工学系研究科 電気系工学専攻 教授
審査委員：小林 正宏	住友電気工業株式会社 シニアフェロー 研究開発本部 技師長
藤村 紀文	大阪公立大学大学院工学研究科 電子物理系専攻 教授
昌原 明植	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 デバイス技術研究部門 部門長
海外審査委員：陳 永富	国立陽明交通大学(台湾) 電子物理系 教授
社内審査委員：田中 悟	株式会社堀場テクノサービス 分析技術本部 Analytical & Testing Technology Department マネジャー
Fran ADAR	HORIBA Instruments Incorporated(ホリバ・インスツルメンツ社/米国) Principal Raman Applications Scientist Semi / Scientific Applications

堀場雅夫賞受賞



国立大学法人京都大学大学院工学研究科
電子工学専攻 助教

石井 良太 氏

【受賞研究題目】

超ワイドギャップ半導体の基礎光物性解明と新機能性発現に向けた
深紫外時空間分解分光法の開拓



チューリッヒ工科大学 化学・応用バイオサイエンス学部
上級研究員

Naresh KUMAR 氏

【受賞研究題目】

チップ増強光分光法を用いた新規半導体材料のナノスケール化学特性評価



マサチューセッツ工科大学 電気工学・コンピューターサイエンス学科
博士課程

Ang-Yu LU 氏

【受賞研究題目】

機械学習モデルによる単層MoS₂のラマンとフォトルミネッセンスの相関の解明

特別賞受賞



国立大学法人東京大学大学院工学系研究科
電気系工学専攻 教授

竹中 充 氏

【受賞研究題目】

シリコン光回路を用いた光電融合深層学習プロセッサの開発



東海国立大学機構名古屋大学大学院
工学研究科電子工学専攻 講師

久志本 真希 氏

【受賞研究題目】

微細構造計測に向けた小型深紫外レーザー光源の開発



授賞式 2023年10月17日(火)京都大学 国際科学イノベーション棟 シンポジウムホールにおいて